

平成 30 年度 第 1 回 わこう翔裕館運営推進会議議事録

(グループホーム・看護小規模多機能型居宅介護)

開催日時	平成 30 年 8 月 22 日 (水) 14:00 ~ 15:00
開催場所	地域交流スペース ひまわり
参加者	和光市 長寿あんしん課 小林様 北第 2 包括支援センター 本多様 民生委員 田中様 ご利用者 神崎様 (看多機利用者) わこう翔裕館 常井 (グループホーム計画作成担当者) 小林 (看護小規模多機能型居宅介護ケアマネ) 栗田 (管理者)

記録： わこう翔裕館職員

【議題 1】 利用者の状況

<概要>グループホームは、平成 30 年 8 月 22 日現在で 18 名となっております。(待機者は 3 名) また、看護小規模多機能型居宅介護 (29 名登録定員) は平成 30 年 8 月 22 日現在で 16 名の利用登録の状況です。※1 名が申請中となります。

8 月 22 日現在の要介護度別利用者数

	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
グループホーム	5	6	4	3	0
看護小規模多機能	5	6	3	0	1

単位：人

<主な質問、意見等>

【本多様】 看護小規模多機能型居宅介護の利用者は増えているのか？

【小林】 最大 19 名まで登録をいただきました。新規利用となってもサービス終了となる方もおり、施設入居に切り替わるなどして現在は 16 名となっている。施設入居への切り替え理由としては、対象者の ADL 変化により訪問や通い、宿泊サービス等で調整を実施してきているが、家族等への負担が大きくなり在宅生活困難という判断に至ることが多い。従って新規登録があっても利用終了者があるため、登録数としては伸びていない現状となっている。

【議題 2】 行事及び事業報告

- 平成 30 年 1 月よりグループホーム介護職員の退職が続いたことにより、派遣職員や他拠点からの応援職員を入れ対応をとってまいりましたが、7 月より体制が整いました。ご入居者、ご家族をはじめ関係者の皆様には多大なるご心配をお掛けいたしましたこととお詫び申し上げます。以後、社内外研修を通じて職員への教育指導を行い安定したサービス提供が実施できるよう努めてまいります。

- ・グループホーム入居者を対象とした服薬支援機器が導入されました。(一人一台) 所有及び管理は「ウィン調剤根岸台薬局」となります。服薬にかける時間(セッティング)とヒューマンエラーの減少がメリットになります。
- ・耆鑑寺のご住職と奥様のご厚意により、春先にはグループホーム入居者の定番の散歩コースとして季節のお花を鑑賞させていただいたり、6月にはペットセラピーの一環として動物と触れ合う機会を提供いただきました。ご入居者には大変好評で、普段見れないような笑顔や反応がうかがえました。12月には寄席も予定されているとの事で興味のある方には参加いただけるよう支援してまいります。
- ・外食レクとして7月に回転ずしへ行きました。皆様、お寿司以外にも揚げ物やデザートまでたくさん召し上がられていました。

<主な質問、意見等>

【田中様】外食レクの寿司は皆さんからの要望ですか？

【栗田】皆様にリクエストを伺ったところ、寿司、刺し身や牛肉が食べたいとお話がありました。

【小林様】外食レクの際の介護職員体制はどのようにしましたか。

【栗田】入居者3名に対して職員1名で対応しました。

【議題3】事故報告(平成30年1月~7月)

・看護小規模多機能…事故発生件数は0件でした。1月に在宅にて逝去された方の死亡報告を和光市と北地域包括支援センターへ実施しました。

・グループホーム……誤薬10件、転倒14件、その他10件 ヒヤリハット7件

再発防止策: 誤薬事故の内容として最も多いものが落葉でした。介護職員には服薬介助とは薬を飲みこむまでを確認することである旨を再度周知しました。転倒事故では居室での単独事故が目立ちました。内2件が骨折事故でした。それぞれの入居者ごとのADLと居室内導線の再確認を実施し再発防止策としました。

<主な質問、意見等>

【本多様】事故後の検証等はどのようにしていますか。

【栗田】毎月実施しているユニット内会議にて、ケアプランと併せてモニタリングを実施しています。

【栗田】事故報告よりヒヤリハット報告が少ない状況ですが、スタッフが少しでも報告がしやすい形式でとありますが、他所での工夫などありましたらお聞かせいただけますか。

【小林様】書式を簡易にすることで報告件数が上がったと聞く施設もあります。

【栗田】他翔裕館でも一人当たり1日1件、ヒヤリハットでもよかったことでも付箋のような簡易なもので報告をするよう義務付けているケースもある。ここで何が合うのか検討し実施していきます。

【議題4】地域連携の取り組み

・地域交流施設「ひまわり」様主催のひまわり祭が平成30年3月31日に行われました。面前の公園も使った大きな祭でしたが、近隣の住人の方が多く参加され楽しまれており

ました。翔裕館をご利用の方もご家族と一緒に小遣いを手にお菓子などを購入され喜ばれていました。

- ・ひまわり様主催のコンサートやイベント開催時にも声をかけて頂き、数名ずつ参加しています。

<主な質問、意見等>

【その他】

<主な質問、意見等>

【本多様】全体的に運動系プログラムを増やしてほしい。ボディスパイダーなど使用してみてもどうか。(実際に使用している事業所に見に行くなどしてみるなど)

【栗 田】毎週木曜日には作業療法士が各ユニットにて集団体操と個別運動を実施しています。看護小規模多機能型居宅介護では、毎日午前中が体操の時間となっており1クール15分程度の体操を2クール、食事前には口腔体操を行っています。ボディスパイダー導入については要検討いたします。

【次回開催日時等】

定期日程を決めて開催したいと思います。 2ヶ月毎の開催(偶数月)で第1水曜日

<日時> 平成30年10月3日(水)14:00～

<会場> わこう翔裕館 地域交流施設ひまわり